

令和3年度も、感染症対策の中で配慮した学習活動を行っております。
 感染症の状況によって、本来計画した学習活動が実施できない場合もありますが、児童の学習状況をふまえながら評価を行いますことをご了承ください。

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
1 ・ 2 年 生 1 学 期 (体 育)	A 体づくりの運動遊び	知識・技能	(ア)体ほぐしの運動遊びで、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わりあったりできる。 (イ)多様な動きをつくる運動遊びで、身体のバランスをとる動き、身体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができる。	観察	操作しやすい用具を用いた運動遊び リズムに乗った運動遊び 体のバランスを保つ動きで構成された運動遊び 這う、歩く、走るなどで構成された運動遊び
		思考・判断・表現	体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、まわりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気をつけたりできる。		
	B 器械・器具を使った運動遊び	知識・技能	(ア)固定施設を使った運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りができる。	観察 試技	ジャングルジム、雲梯、登り棒、肋木、平均台などを使った運動遊び ふとん干し、ぶたの丸焼き、ツバメ、跳び上がり、跳び下り
		思考・判断・表現	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、順番やまわりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりできる。		
	C 走・跳の運動遊び	知識・技能	(ア)走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりできる。	観察 試技	30～40M程度のかげっこ 折り返しリレー遊び ゴム跳び遊び
		思考・判断・表現	走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、順番やまわりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりできる。		
	D 水遊び	知識・技能	(ア)水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりできる。 (イ)もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりできる。	観察 試技	水につかっての水かけっこ、まねっこ遊び 水中じゃんけん、石拾いなどのもぐる遊び バブリング、ポピング
		思考・判断・表現	水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、順番やまわりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりできる。		
F 表現リズム遊び	知識・技能	(ア)表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることができる。 (イ)リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ることができる。	観察	動物などの特徴が捉えやすく、多様な感じの動きを多く含む表現遊び 軽快なリズムの曲で、児童にとって身近で関心の高い曲を使ったりリズム遊び	
	思考・判断・表現	身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりできる。			

令和3年度も、感染症対策の中で配慮した学習活動を行っております。

感染症の状況によって、本来計画した学習活動が実施できない場合もありますが、児童の学習状況をふまえながら評価を行いますことをご了承ください。

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 ・ 4 年 生 1 学 期 (体 育)	A 体づくり運動	知識・技能	(ア)体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 (イ)多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができる。	観察	物にぶら下がるなどの動きで構成される運動 人を運ぶ、支えるなどの動きで構成される運動 用具を投げたり、捕る、振るなどの動き
		思考・判断・表現	自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。		
	B 器械運動	知識・技能	(イ)鉄棒運動では、支持系の基本的な技をすることができる。 (ウ)跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。	試技 ワークシート（思・主）	鉄棒 （・前回り下り前方支持回転 ・後方支持回転・補助逆上がり ・逆上がり・前方かたひざかけ回転 ・後方かたひざかけあがり） 跳び箱（開脚跳び・抱え込み跳び）
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。		
	C 走・跳の運動	知識・技能	(ア)かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすることができる。	記録 ワークシート	30～50m程度のかげっこ 周回リレー
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。		

3
・
4
年
生

1
学
期
(
体
育
)

D 水泳運動	知識・技能	(ア)浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすることができる。 (イ)もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすることができる。	観察 試技	け伸びなどの浮いて進む運動 だるま浮きやボビングなどの もぐる・浮く運動 着衣泳
	思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができる。		
F 表現運動	知識・技能	(ア)表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 (イ)リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。	観察	リズムダンス
	思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。		
G 保健 3年	知識・技能	(ア)心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることを理解できる。 (イ)毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	健康な生活、一日の生活の仕方についての理解を深め、健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。		
G 保健 4年	知識・技能	(ア)体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があることを理解できる。 (イ)体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	体の発育・発達、思春期の体の変化についての理解を深め、体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。		

令和3年度も、感染症対策の中で配慮した学習活動を行っております。

感染症の状況によって、本来計画した学習活動が実施できない場合もありますが、児童の学習状況をふまえながら評価を行いますことをご了承ください。

時期	学習内容 単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
5 ・ 6 年 生 1 学 期 (体 育)	A 体づくり運動	知識・技能	(ア)体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすることができる。	観察	人や物の動き、場の状況に対応した運動 用具などを用いた運動 人や物の重さなどを用いた運動
		思考・判断・表現	自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。		
	B 器械運動	知識・技能	(イ)鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。	試技 ワークシート（思・主）	鉄棒（片足踏み越し下り、膝掛け上がり、逆上がり、これまでに学習した基本的な技を組み合わせた技）
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができる。		
C 陸上運動	知識・技能	(ア)短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 (イ)ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 (ウ)走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 (エ)走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。	記録 観察 ワークシート	リズムカルな助走からの走り幅跳び 50m走	
	思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。			

5
・
6
年
生

1
学
期
(
体
育
)

D 水泳運動	知識・技能	(ア)クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 (イ)平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 (ウ)安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くことができる。	観察 試技	25m～50m程度を目安にしたクロール・平泳ぎ ゆったりとしたクロール・平泳ぎ 着衣泳（10～20秒程度を目安にした背浮き）
	思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができる。		
F 表現運動	知識・技能	(ア)表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 (イ)フォークダンスでは、日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。	踊り方 大切なポイントを押さえているか	ダンス
	思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができる。		
G 保健 5年	知識・技能	(ア)心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすることができる。 (イ)心と体には、密接な関係があることを理解できる。 (ウ)不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処についての理解を深め、心の健康について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。。		
G 保健 6年	知識・技能	(ア)病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こることを理解できる。 (イ)病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	病気の起こり方、心病原体が主な要因となって起こる病気の予防、生活行動が主な要因となって起こる病気の予防についての理解を深め、病気の予防について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。。		